



学校だより

園里っ子

須坂市立豊丘小学校
平成29年5月22日
文責：渋谷

北信陸上大会（5月20日）や須高自転車大会（6月4日）に向けて、朝や放課後の練習に熱心に取り組む子どもたちの姿に清々しさを感じる季節です。5月18日にはグラウンドで行う全校飯ごう炊飯の行事「縦割り班カレー」のための班別打ち合わせ会があり、カレー作りのための持ち物の分担や役割分担を決めました。5、6年生がリードする中で1、2年生が真剣にメモを取っている姿が印象的でした。また、それぞれの学年では社会見学の計画やまとめなど、子どもたちが生き生きと一生懸命に取り組んでいる様子が見られて嬉しいかぎりです。

不審者対応訓練

5月11日に須坂警察署から2名の警察官を講師にお招きして「不審者対応講座」を行いました。もし、不審者に声をかけられたらどうしたら良いかということ、6名の代表児童と不審者役の警察官のやり取りを通して全校で勉強しました。

- ① 不審な人には近寄らない。都合の良い話にのらない。
 - ② 距離を取っておき、すぐに手を掴まえられる距離にいない。近隣の家に逃げ込む。
 - ③ 絶対に知らない人の車には乗らない。
 - ④ 防犯ブザーを携帯する。定期的に点検しておく。
 - ⑤ 余裕があれば車のナンバーを覚える。なるべく車輛の向きと反対の方向に逃げる。
- など小学生の頃だけでなく、これから先も生きる内容を教えていただきました。



5月の校長講話 ～地獄の人と天国の人～

むかし、ある男がえんま大王に会いに行き、天国と地獄というのは、どういう世界なのかを聞きました。すると、えんま大王は、男に、天国のようすと地獄のようすを、それぞれ見せてくれました。

まず、えんま大王は男を地獄に案内しました。地獄では、大きなドラの音が鳴って人々が集まって来ました。ちょうど食事の時間だったようです。大きな大きな鍋に、おいしそうな料理が煮えていて、とってもいい臭いがしていました。鍋がととてもとても大きいので、ながーい箸でなければ食べられません。人々は、ながーい箸を受け取って、鍋の周りに、ひしめくように集まっていました。大勢が鍋の周りをぐるりと取り囲んだとき、また大きなドラの音がしました。どうやら「食べ始めてよい」の合図のようです。人々は一斉に、ながーいはしで、鍋の中のごちそうをとって食べようとするのですが、あまりにながーいので、どうしても自分の口にごちそうが届きません。はしで挟んで、食べ物を口に運ぼうとすると口に届かないばかりか、隣の人に腕が当たってしまいます。そして、けんかになっていました。たとえ、もう少しで食べることができそうになっても、他人の食べ物を横取りしようとして 料理はだれの口にも入りません。苦しそうな顔と怒った顔ばかりで、皆、お腹をすかせています。争って暴れ開けた衣服の下から、骨と皮だけの痩せこけた体が現れているのです。



次に、えんま大王様は天国を見せてくれました。天国も食事の時間でした。ドラの音で集まった人々は、地獄と同じように、ながーいはしを受け取って、大きい大きい鍋の周りに集まってきました。天国

でも、大きな大きな鍋においしそうな料理が煮えているので、ながーいはしで食事をしなければならぬのです。「なんだ、地獄も天国も同じじゃないか！」男はそう思った時に、ドラの音が響いたのです。天国の人々は、口々に「食事の準備をありがとうございます。いただきます」と唱え、おだやかな顔をして皆で楽しそうにごちそうを食べ始めたのでした。

どうやって食べていたと思いますか？

はしで食べ物をつまむと、隣の人の口にごちそうを運びます。「ありがとう」と隣の人は答えます。すると、また隣の人は、その隣の人の口にごちそうを運びます。「ありがとう。おいしいね」。ながーいはしで、おたがいに仲良くごちそうを分けあって食べているのです。皆が優しい顔で笑顔です。

天国も地獄も同じなのに、何が違うのでしょうか？

「地獄にいる人々は 自分のことばかり考えていて、天国の人々は、お互いを思いやっている」ということです。この話は、天国も地獄も、そんなに変わりがないが、そこに住む人々の気持ちによって、地獄にも天国にもなるということです。

学級も同じです。日本国中、どこの学級にも机があって椅子があって、窓があり黒板があります。特に教室に大きな違いはありません。ただ、自分のことばかりを先に考えて「争い」「いじめ」が絶えない学級があるとすれば「地獄」に感じるかもしれませんね。そして、お互いに思いやりであふれ、分かち合える学級は、陽だまりのような暖かな学級、「天国」となるでしょう。私たちは勉強に行事に、頑張ることはたくさんあります。大きい鍋を前にして、長いはしを使って食べなければならないように、私たちの生活にも思い通りにならないことや、多少の苦難もあります。ただし、助け合って仲良く生きることができれば、人は幸せを感じたり、それを乗り越え大きく成長したりします。私は、天国や地獄というのは、人の世にこそあるのではないかと考えています。

えんま大王だって、お話の中だけの事で、実際にはいないと思う人はいるかもしれません。しかし、人が嫌だなと悲しんでいるとき、それを面白がるのか、その人の気持ちに寄り添えるのか、まさに天国と地獄の真ん中の位置というのは、人の心の中にこそあるのではないのでしょうか？

5月8日～19日まで人権強調旬間です。自分の、思いやりや協力についてチェックしてみる機会かと思えます。新年度が始まり、1ヶ月の間、今までの生活を振り返ってみましょう。「暖かな日だまり」のような学級にしていきましょう。



5月20日(土)のPTA 資源回収では、大変お世話になりました。ありがとうございます。

たくさんの資源物を集めることができました。保護者の皆さん、地域の皆さんが学校を支えていただいていることを実感し、本当に感謝です。ありがとうございました。

交通事故に気をつけましょう

1年間で、最も日が長い季節がやってきました。放課後も長い時間遊ぶことができます。この時期に、一番に気を付けてほしいのは交通事故の防止です。

特に、公道のキックボード走行は法的にも禁止されていることです。車輪があって、ブレーキも付いていないものを坂道で乗ること自体、非常に危険だと言えます。キックボードをお持ちの家庭は、ぜひとも今一度、この時期に声をかけて確認頂くようお願い致します。